学校番号	T0207

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地総 002-901「地理総合」（東京書籍） 地図 046-901「新詳高等地図」（帝国書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○資料の読み取りや考察などを行なうことがあります。主体的に説明したり、論述したり、意見交換したりする姿勢が重要です。
○地図帳や統計などを使う作業では、色ペンや蛍光ペン等でマークをすることがあります。各自で用意してください。
○主に教科書・プリントを使って学習します。
○定期考査やレポート課題などによって学習評価を行います。

2　学習の到達目標

①地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。
②地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。
③地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ・考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	・知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1編　地図や地理情報システム	第1章　私たちが暮らす世界 1　緯度･軽度 2　地球儀と世界地図 3　日本の位置と領域 第2章　地図や地理情報システムの役割 4　地図の種類 5　地形図のルール 6　主題図の種類と読みとり 7　地理情報システムと地図 第3章　資料から読み取る現代世界 8　交通の発達 9　情報通信の発達	a:地球を球面として捉え，球面上の位置・方位・距離について正しく認識し，:国家の領域に関する知識を身につけ，統計数値を用いて適切な主題図を作成することができる。 b:球体である地球上での位置･方位･距離を正しく読み取ることができ，日本の位置と領域や国家間のつながりに影響する事象について世界的視野から捉えま	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物

	でとらえる現代世界	10 国境を超える人々の移動 11 拡大する貿易 12 つながる世界、多極化する世界	とめることができる。 c:球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取ることができ，地域や国家間の結びつき，日本の領域に関する諸問題について，興味・関心をもって授業に臨もうとしている。			
	第2編 国際理解と国際協力	第 1 章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1 節 生活文化の多様性と国際理解 13 文化の地域性と多様性 14 宗教と人々の暮らし 2 節 生活文化と自然環境① 地形 15 山地の暮らし 16 平野の暮らし 17 海岸の暮らし 3 節 生活文化と自然環境② 気候 18 多様な気候とその分布 19 熱帯の人々の暮らし 20 乾燥帯の人々の暮らし 21 温帯の人々の暮らし 22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 4 節 生活文化と産業 23 食生活と農業の分布 24 工場立地の変化 25 商業立地と人々の生活 26 情報産業の発達と生活文化の変化	a:地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ，気候区分と植生分布の関連性を理解し，自然環境が人々の生活文化や産業，伝統の形成などに深く関わり，また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 b:世界の産業の特徴を地域ごとに比較し，自然環境や生活文化との関連性を考察している。 c:身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え，産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。文化の多様性と生活の関わりについて，興味・関心をもって積極的に調べようとしている。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物

後 期	第2編　国際理解と国際協力	第2章　さまざまな地球的課題と国際協力 1節　地球環境問題 27　地球環境問題① 28　地球環境問題② 2節　資源･エネルギー問題 29　資源･エネルギー問題の偏在 30　化石燃料から再生可能エネルギーへ 3節　人口問題 31　発展途上国の人口問題 32　先進国の人口問題 4節　食料問題 33　食料需給をめぐる問題 5節　居住･都市の問題 34　発展途上国の居住･都市問題 35　先進国の居住･都市問題 6節　民族問題 36　民族問題･難民問題 7節　持続可能な社会の実現をめざして 37　地球的課題と国際協力	a:途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを，主題図や写真などから判読できる。エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し，主題図や統計資料をもとに，諸課題を読み取ることができる。 b:途上国と先進国それぞれの都市問題について，その構造的要因を考察できる。地球環境を守り持続可能な発展を実現するために，国際的な協力体制が必要なだけでなく，その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察している。 c:身近にある課題が地球規模で取り組むべきことを構造的に捉え，因果関係図を用いて整理できる。また，地球市民としての自覚だけでなく，地域住民としてのあり方も考え，課題解決のための具体的な行動を主体的におこそうとしている。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物
	第3編　持続可能な地域づくりと私たち	第1章　自然環境と防災 1節　日本の自然環境の特色 38　日本の地形の特色 39　日本の気候の特色 2節　さまざまな自然災害と防災 40　地震災害･津波災害① 41　地震災害･津波災害② 42　火山の災害とめぐみ 43　気象災害①　暑さ･寒さと台風 44　気象災害②　大雨と洪水･土砂災	a:風水害，火山，地震・津波，都市型災害などが発生することを捉えることができ、ハザードマップなどを読み取る技能を身につけ，生活圏の課題を解決するために課題を発見している。 b:日本における自然災害の要因と特徴，地域	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物

		害 45 都市と自然災害 46 防災･減災と復旧･復興 第 2 章 生活圏の調査と地域の展望 47 調査テーマの設定 48 地域調査① 49 地域調査② 50 まとめと発表	性を考察し，課題の所在について考察できる。生活圏の防災や減災について，具体的な課題と避難行動を構想することができる。 c:与えられた資料だけでなく，主体的かつ目的意識をもって資料やデータを収集し，考察しようと試みている。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度